

谷口裕和舞の会

—地唄とヴァイオリンの調べの中で—

地唄 雪 yuki

唄・三絃 大澤 邦尹

地唄 葵の上 aoi no ue

唄・三絃 大澤 邦尹

笛 福原 百七

無伴奏ヴァイオリン・ソナタ
第1番ト短調 BWV.1001

構成・演出 大河原 一郎

振付 谷口 裕和

ヴァイオリン 大多 貴子

■飛騨高山公演■ 5月22日[金]—26日[火] キタニふれあいホール

■東京公演■ 6月6日[土]—7日[日] 武原舞台「はん屋」(六本木)

■ご鑑賞料 12,000円(税込) [お茶席券・お飲物付] 全席自由

□後援□ (社) 高山市文化協会



谷口裕和
(立 方)



大澤邦尹
(地 唄)



福原百七
(笛)



大多貴子
(ヴァイオリン)

雪 yuki

「雪」という題目は「花も雪も払へば清き袂(たもと)かな」という歌詞の冒頭から取られました。寒々とした孤獨の性しき、身を切られるような世界を描き出した作品です。主人公は仏門に入った女で、冒頭の歌詞にはその心境が描かれています。しかし、独り寝のつれづれに思い出すのは昔の恋人のこと。「ほんに昔のことよ」と言いながら、女の心は次第に過去の思い出に引き込まれていきます。現実の過去よりも美化された世界。そこに浮かぶ切ない恋には、沁みいるような情感があります。

この曲は大阪の實在の芸妓をモデルに、江戸中期の天明(1781-1789)ごろ作られた地唄です。地唄とは江戸時代の上方で作られた三味線歌曲の総称ですが、恋を主題とする作品には上方らしい優艶な情緒が溢れています。地唄はもともと演奏用の音曲でしたが、遊里の宴席や商家の奥座敷などで演じられる上方特有の舞の伴奏に使われるようになりました。

上方の舞は、躍動的な歌舞伎舞踊と違い、狭い空間で静かに演じられるのが特徴です。この「雪」も無駄を削ぎ落とした象徴的な形が静かに続く中に、秘めた思いの深さを、そこはかとなく漂わせています。

葵の上 aoinoue

能の「葵上」を地唄に移しかえた作品。寛政六年(1794)の歌本に詞章の見える古い曲で、地唄の代表的名曲の一つです。原典は「源氏物語」の一節。光源氏には、正妻・葵の上のほかにも、あまたの愛人があり、六条御息所もその一人でした。

しかし、源氏の愛は次第に若い女性たちに移ります。祭礼の日。恋しい源氏の姿を一目見ようとやって来た御息所は、葵の上の従者たちに牛車を打ち壊され、耐えがたい屈辱を受けました。以来、御息所の魂は、夜ごと物の怪となつて葵の上の枕辺に現れるようになりました。このような経緯を踏まえて「葵の上」は始まりません。

場面は葵の上の寢所。一枚の小袖を横たえて葵の上の存在を示すのは、能特有の象徴表現を踏襲しています。そして、ほの暗い灯火のゆらめきの中に、破れ車に乗った怪しい人影が出現します。教養を備えた貴族の女性の恋の煩惱、それも生霊という特異な設定が趣のある世界をつくり出します。

無伴奏ヴァイオリン・ソナタ

第一番ト短調 BWV. 1001

ヴァイオリン・ソナタ第一番は、バッハの他のソナタと同様に緩急緩急急という配列の教会ソナタのスタイルに基づく4つの楽章から成り、荘嚴な美しさが豊かに息づいています。

◇第1楽章 アダージョ(ト短調4分の4拍子)ゆるやかで流麗な音の流れのなかに、みずみずしい即興性やファンタスティックな美質が広がります。

◇第2楽章 アレグロ(ト短調4分の4拍子)リズムミッドで生き生きとした主題から構築された3声の堂々たるフーガです。

◇第3楽章 シチリアーノ(変ロ長調8分の12拍子)のびやかで抒情的な楽章で、牧歌的な情緒を醸し出します。

◇第4楽章 プレスト(ト短調8分の3拍子)16分音符の急速で絶え間ない動きに楽章全体が支配され、ソナタの結末を華麗に盛り上げます。

■飛騨高山公演■ キタニふれあいホール

5月	22日[金]	23日[土]	24日[日]	25日[月]	26日[火]
18時開場 19時開演	○	○	○	○	○

■東京公演■ 武原舞台「はん居」(六本木)

6月	6日[土]	7日[日]
15時開演 19時開演	○	○

開場は開演の1時間前です。ご来場順に整理番号をお配り致します。開演前にもお茶席をご利用いただけます。

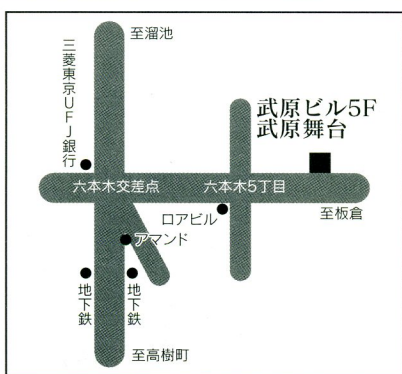
■ご鑑賞料■ 12,000円(税込) 【お茶席券・お飲物付】全席自由(限定60席)

■前売券取扱所■ 4月10日発売開始

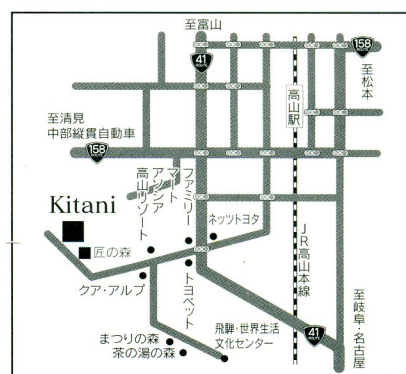
□web予約□ <http://www.visconti.jp/>

□オフィス: ヴィスコンティ □ 03-3836-5444

□おぎ傳 □ (高山市上一之町45) 090-7866-2112 (その場でチケットがお求め頂けます)



港区六本木3-15-20-5F
■武原舞台「はん居」■



高山市松倉町2115
TEL 0577-346395
■キタニふれあいホール■